

2016年9月26日

【文部科学省イノベーションシステム整備事業 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」第7回公開シンポジウムの開催について】

横浜市立大学 先端医科学研究センター

平野 久

日本電気泳動学会の皆様

下記のシンポジウムを開催いたしますのでご案内申し上げます。

文部科学省イノベーションシステム整備事業

先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」

第7回公開シンポジウムの開催について

●日時:平成28年10月26日(水)13:30~16:00

●会場:横浜情報文化センター 情文ホール

●参加費:無料

●参加申込:下記ページよりお申込みください。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kyotenpr/>

●シンポジウムプログラム:

(敬称略)

【13:30~13:35】開会の辞および挨拶／二見 良之(総括責任者／横浜市立大学 理事長)

【13:35~13:55】「今求められる大学発イノベーション」文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課長 坂本 修一

【13:55~14:10】「横浜市立大学における研究体制の整備について」窪田 吉信(横浜市立大学学長)

【14:10~14:25】拠点の概要説明 / 拠点長 大野茂男

【14:25~14:55】「予防医学の新展開:バイオマーカーを用いた先制医療への期待」京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学准教授 内藤 裕二

【14:55~15:10】「新規卵巣明細胞がん診断マーカーの開発」横浜市立大学医学部 がん総合医科学 教授 横浜市立大学附属病院 産婦人科部長 宮城悦子

【15:10~15:25】休憩

【15:25~15:40】「ラクトフェリンの内臓脂肪低減メカニズム解析と機能性表示食品への応用」横浜市立大学客員教授 ライオン株式会社研究開発本部 生命科学研究所 所長 村越 倫明

【15:40~15:55】「ピロリ菌による胃発がん機構とその予防的介入」東京大学大学院医学系研究科医学部 微生物学分野教授 畠山 昌則

【15:55~16:00】総括 / 研究統括 平野 久

※別添のチラシもご覧ください。

●問い合わせ先

公立大学法人横浜市立大学「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」

シンポジウム事務局 中島、斎藤

TEL 045-787-2529 E-mail amedrc@yokohama-cu.ac.jp


企業会員製品情報

Wako リン酸化タンパク質研究の新ツール NARD bioass,tc MAANAC Incorporated

Phos-tag® シリーズ

What's Phos-tag®?

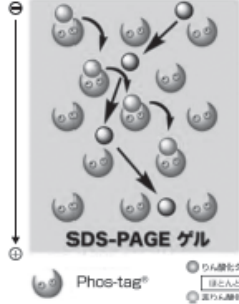
[Phos-tag® 基本構造]



M²⁺: 亜鉛イオン or マンガンイオン
~ 1 nm

Phos-tag® はリン酸化タンパク質を特異的に捕捉する面閉鎖的な機能分子で、リン酸化タンパク質の SDS-PAGE による分離・精製・MS 解析に使用できる製品をラインアップしております。

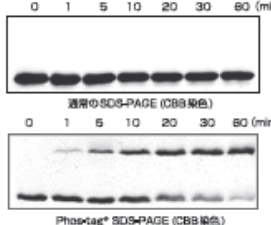
リン酸基アフィニティー電気泳動法の原理



Phos-tag®

①リン酸化タンパク質 → 速く泳動
②非リン酸化タンパク質 → 遅く泳動
③リン酸化タンパク質に Phos-tag® が結合 → 速く泳動

【使用例】
Abl によるリン酸化反応の経時的変化の観察
チロシンキナーゼ Abl と、その基質ペプチド (Abtide) と GST の融合タンパク質を用い、ペプチド中のチロシンをリン酸化し、通常の SDS-PAGE と Phos-tag® SDS-PAGE で分離した。



0 1 5 10 20 30 60 (min)

通常の SDS-PAGE (CBB 染色)

0 1 5 10 20 30 60 (min)

Phos-tag® SDS-PAGE (CBB 染色)

Phos-tag® は、広島大学大学院 歯歯薬学総合研究科 医薬分子機能科学研究室にて開発されました。
ご購入に際し製品情報 (適用法・保管条件など) のご確認は、当社総合カタログおよび検索サイト (siyakuzom) をご参照ください。

和光純薬工業株式会社

問い合わせ先
フリーダイヤル: 0120-052-099 フリーファックス: 0120-052-806
URL: <http://www.wako-chem.co.jp>
E-mail: labchem-tec@wako-chem.co.jp

本 社: 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号
東京本店: 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号
営業所: 北海道・東北・筑波・畿内・東海・中国・九州

日本電気泳動学会企業会員

- | | | |
|---------------|------------|-------------------------|
| アドバンテック東洋 (株) | 癸巳化成 (株) | コスモ・バイオ (株) |
| (株) 島津製作所 | シャープ (株) | ナカライテスク (株) |
| (株) ナード研究所 | 日本エードー (株) | バイオ・ラッド ラボラトリーズ (株) |
| (株) ヘレナ研究所 | 和光純薬工業 (株) | (株) クリムゾン インタラクティブ ジャパン |

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛にお願いいたします。

第7回 公開シンポジウム

予防医療の新展開

開演

平成28年10月26日(水) 13:30-16:00

会場

横浜情報文化センター 情文ホール

来賓挨拶 (敬称略)

文部科学省 科学技術 学術政策局
産業連携 地域支援課長 坂本 修一

講演

京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学 准教授

JST 科学技術システム改革事業研究領域主管 内藤 裕二

横浜市立大学医学部 がん総合医科学 教授 横浜市立大学附属病院 産婦人科 部長 宮城 悦子

横浜市立大学客員教授 ライオン株式会社 研究開発本部 生命科学研究所 所長 村越 倫明

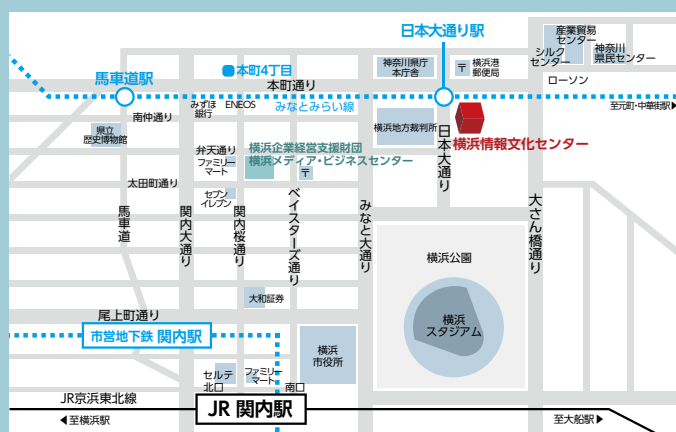
東京大学大学院医学系研究科医学部 微生物学分野教授 畠山 昌則

会場
のご案内

横浜情報文化センター
情文ホール

〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 番地

- JR : 「関内駅」南口 徒歩 10分
- 横浜市営地下鉄: 「関内駅」1番出口 徒歩 10分
- みなとみらい線: 「日本大通り駅」3番出口 徒歩 0分



お申し込み
方法

下記 URL にアクセスし、必要事項をご記入のうえ送信してください。
<http://www.user.yokohama-cu.ac.jp/kyotenpr/>

参加申し込み締め切り
10月20日(木)

※定員(200名)に達し
次第締め切ります。

お問い
合わせ先

公立大学法人 横浜市立大学

「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」シンポジウム事務局 (担当: 中島・斎藤)

TEL: 045-787-2529 E-mail: amedrc@yokohama-cu.ac.jp

後援: 横浜市政策局

第7回 公開シンポジウム 予防医療の新展開



YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY
後援：横浜市政策局

開演 平成28年10月26日(水) 13:30-16:00

会場 横浜情報文化センター 情文ホール

プログラム詳細

※スケジュール・演題は変更となる場合があります。



開会の辞および挨拶

二見 良之 (総括責任者 / 公立大学法人 横浜市立大学 理事長)



「今求められる大学発イノベーション」

坂本 修一 (文部科学省 科学技術 学術政策局 産業連携 地域支援課長)



「横浜市立大学における研究体制の整備について」

窪田 吉信 (横浜市立大学 学長)



拠点の概要説明

大野 茂男 (拠点長)



「予防医学の新展開：バイオマーカーを用いた先制医療への期待」

内藤 裕二 (京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学 准教授 JST 科学技術システム改革事業研究領域主管)



「新規卵巣明細胞がん診断マーカーの開発」

宮城 悦子 (横浜市立大学医学部 がん総合医科学 教授 横浜市立大学附属病院 産婦人科 部長)



休憩



「ラクトフェリンの内臓脂肪低減メカニズム解析と機能性表示食品への応用」

村越 倫明 (横浜市立大学客員教授 ライオン株式会社 研究開発本部 生命科学研究所 所長)



「ピロリ菌による胃発がん機構とその予防的介入」

畠山 昌則 (東京大学大学院医学系研究科医学部 微生物学分野教授)



総括

平野 久 (研究統括)

会場のご案内

横浜情報文化センター 情文ホール

〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 番地

- JR : 「関内駅」南口 徒歩 10分
- 横浜市営地下鉄 : 「関内駅」1番出口 徒歩 10分
- みなとみらい線 : 「日本大通り駅」3番出口 徒歩 0分

お申し込み方法

下記 URL にアクセスし、必要事項をご記入のうえ送信してください。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kyotenpr/>

参加申し込み締め切り **10月20日(木)**

※定員(200名)に達し次第締め切ります。

お問い合わせ先

公立大学法人 横浜市立大学

「翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成」シンポジウム事務局 (担当: 中島・斎藤)

TEL : 045-787-2529 E-mail : amedrc@yokohama-cu.ac.jp

